

## 第19回私立短期大学入試広報担当者研修会 初任者分科会 研修報告書

豊橋創造大学短期大学部 平松 靖一郎  
仁愛女子短期大学 後久 真嗣  
大手前短期大学 島崎 千江子

### 【Ⅰ 分科会の目標設定】

- ①入試広報担当者として基本的な知識を身につける
- ②他短大の状況をよく知り、人脈を広げる
- ③本研修で得た「気づき」を自大学の業務に活かす

### 【Ⅱ 分科会の実施内容（スケジュール）】

9月5日実施

14:45～17:15

- ◆委員紹介（担当：島崎委員）
- ◆イントロダクション（話題提供）  
「元気な広報マンが元気な短大（短大）を作る（創る）」（担当：平松委員）
- ◆グループワーク Part1「オープンキャンパスについて」（担当：後久委員）
  - ・1グループ6名の3グループに分かれて実施。
  - ・まずは各グループにて、各大学の特色あるオープンキャンパス取り組み事例や失敗事例について意見交換を行う（15分程度）。
  - ・次に、グループで出した意見を参考にして、オープンキャンパスに1人でも多く集客し、出願につながるための手段を討議して、模造紙にまとめる。
  - ・各グループによる発表（1グループ3分程度）。



9月6日実施

10:45～12:15

- ◆グループワーク Part2「効果的な広報ツールについて」
  - ・グループのメンバーを一部入れ替えて実施。
  - ・まずは各グループに各大学の広報ツールとその活用方法や効果について意見交換を行う（15分程度）。
  - ・次に、グループで出した意見を参考にして、自校の魅力や強みをより多くの人に伝え、出願につながるためのツールや方法について討議して、模造紙にまとめる。
  - ・各グループによる発表（1グループ3分程度）



### 【Ⅲ 分科会の総括】

主に大学に勤めて 3 年未満の方が対象であったため、自学以外の取り組み事例を知り、人脈を広げることを大きな目標として運営を行った。

まず最初に、入試広報担当者に求められるスキルや、初任者が抱えている課題について話題提供を行い、本分科会での目標を明確にすることができた。その後、1 グループを 6 名程度の小グループにすることで全員が発言できる環境を整えた。初任者が日頃から担当しているオープンキャンパスや広報ツールといった身近なテーマで話し合いを行うことで、活発な議論が生まれ、自学に取り入れられることは 1 つでも多く吸収しようと積極的な情報交換がなされていた。

研修会後も情報交換が行われており、概ね設定した目標は達成できたと考える。

### 【Ⅳ 参加者の成果シート（まとめ）】

・どこの大学も同じ状況という事がわかり良かった。 ・入試広報担当として身につけておくべき基本的事項を確認することができた。他大学での運営、大学での問題など多様な情報を得た。 ・今年配属されたばかりなのでとても勉強になりました。 ・オープンキャンパスを取っても広報ツールを取っても、各短大で工夫されていることがよくわかり参考になりました。学科、立地と様々なちがいがあある分、斬新なアイデアもあったので、本学でも取り入れていきたいと思いました。 ・入試広報担当者として押さえるポイントを学ぶことができたと思います。入試の過渡期、私達の姿勢で短大の方向性が変わってしまうと思うので、気を引き締めていきたいと思います。 ・入職して 5 ヶ月ということで、担当する業務を越えた交流経験が初めてでした。全国各地さまざまな環境に置かれている中で参加者増加のために長期的な視点で取り組まれている事を知りました。高校生、保護者、またその先生方のニーズを捉えた取り組み、仕組み作りをどう出願につなげるか。さらに深掘りしたいと思いました。 ・自分自身の普通と他大学の普通を認識できて客観的に物事を考えることができた。 ・他大学の方々と「繋がる」こと自体に、大きい意味と価値があり、改めて自分を再確認し、モチベーションをあげる良い機会になって感謝している。 ・たくさん入試広報の方と知り合え、他短大の事例等の情報交換や悩み等が聞けて良かったです。 ・同じような悩みを持っている人が多かった。 ・もっと広い視野を持たなければ、と思いました。 ・専門学校の先生の話聞く事ができて良かったです。 ・パネルディスカッションで「愛校心」が大切という話が出たが、今までの自分のと一緒であり、より一層、軸にして活動していこうと思った。 ・本短大は広報担当がおらず、教員や事務員がメインで動いてきた。しかし、広報に関して、責任の取れない教員が動くのではなく、きちんと広報要員を置くべきだと思った。 ・研修会前と後で変わったのは、参加された方々が同業者ではなく、「仲間」だという意識変化でした。3 日間の経験だけにせず、今後引き続きお付き合い、情報交換をできればと思います。 ・皆さん、同じような悩みを持たれていると知ることができ、少し気持ちが楽になりました。 ・広報マンでありながら、日々の業務を単にこなすだけになっており、広報マンとしての自覚をもっと持たなければという気持ちになった。